



かたしな

議会だより



CONTENTS

- ◆ 臨時議会開催、議会構成決まる（第2回臨時会）…………… 2～3
- ◆ 6月議会定例会で決まったこと、ようこそ有権者…………… 4～5
- ◆ 一般質問…………… 6～7
- ◆ 常任委員会…………… 8～9
- ◆ 再生可能エネルギー調査・研究特別委員会活動報告…………… 10
- ◆ 議案内容及び議決一覧・要望書を国会議員へ提出…………… 11
- ◆ 議会活動日誌…………… 12

臨時議会を開催

議会構成決まる

5月12日開催の令和4年第3回臨時議会では、副議長に後藤眞平議員が選出され、各常任委員会及び議会運営委員会の委員長・副委員長そして委員が選任されました。また、議会広報編集特別委員会の委員長・副委員長そして委員の選任及び、専決処分の報告、片品村一般会計補正予算が提案され、いずれも原案どおり可決しました。



片品村議会副議長
後藤眞平

副議長あいさつ

このたび、議員各位のご推挙により、副議長に就任させていただいたことは、身に余る光栄であり、その職責の重さを痛感しております。

議長の補佐役として、村政発展に努めるとともに、公平かつ円滑な議会運営に努める所存であります。

いまだに収束のないコロナウイルス感染症やロシアによるウクライナ侵攻の長期化、梅雨が短く猛暑を迎えているこの夏の異常気象、そして、これらの要因によって引き起こされた生活物資の価格高騰など、非常に混沌とした社会情勢ではありますが、再び平穏な日々が来ることを切に願うばかりであります。

村民皆様のご指導とご鞭撻をお願い申し上げ、就任のあいさつとさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

第3回臨時議会で決まったこと

人事

- 副議長の選挙
- 議会広報編集特別委員会の選任

専決処分

- 片品村税条例等の一部改正
- 国民健康保険税条例の一部改正

予算

- 令和4年度片品村一般会計補正予算（第1号）
- | | |
|--------|------------|
| 補正額 | 750万円 |
| 補正後の合計 | 36億7,150万円 |



議会運営委員会

=就任のあいさつ=

議会運営委員会は12名の議員で構成される議会を、円滑にそして効率的に運営するために置かれた委員会です。令和2年3月に議会基本条例を制定し、活発な議会活動を行っています。二元代表制が機能して、村づくりに結び付くよう、役割を果たして参りますので、よろしくお願いいたします。
(委員長 飯塚 美明)

◎飯塚 美明 〇星野 吉弥 萩原 和典
千明 勉 萩原 正信 鹿野 一郎



総務観光常任委員会

=就任のあいさつ=

この度、委員各位のご推挙をいただき総務観光常任委員会の委員長に就任いたしました。いまだ収束していない新型コロナウイルス感染症ですが、感染予防対策をした中での社会経済活動が再開し片品村でも観光客が増え始め活気が出てきました。

1年間、様々な問題に委員会全員で取り組んでまいりますので、村民の皆様のご指導・ご鞭撻をよろしくお願いいたします。
(委員長 萩原 和典)

◎萩原 和典 〇萩原 正信 千明 道太
高山 悦夫 星野 吉弥 北澤 佳子



産業民教常任委員会

=就任のあいさつ=

この度、5月の臨時会において、産業民教常任委員長に就任いたしました。

微力ではありますが、村民皆様のご指導をいただきながら、安心して暮らせる片品村のために鋭意努力してまいります。

片品村民皆様のご指導、ご協力をお願いいたしまして、就任のあいさつとさせていただきます。

(委員長 千明 勉)

◎千明 勉 〇鹿野 一郎 飯塚 美明
星野 栄二 後藤 眞平 狩野 孝夫



議会広報編集特別委員会

=就任のあいさつ=

この度、5月の臨時議会において委員長に就任いたしました。議会活動をより身近に、村民の皆様にお届けできるよう努力してまいります。

1年間よろしくお願いいたします。

(委員長 北澤 佳子)

◎北澤 佳子 〇狩野 孝夫 飯塚 美明
星野 栄二 高山 悦夫 萩原 正信



6月議会定例会で決まったこと

令和4年第4回片品村議会定例会（6月議会）を6月3日から10日までの8日間にわたり開催しました。執行部からは「令和4年度一般会計補正予算」及び「繰越明許費繰越計算書の報告」「条例の一部改正」等が提案されました。

その後議会は、予算説明会、各常任委員会を開催し本会議で審議のうえ、全ての議案を可決しました。

令和4年度 6月補正予算

（単位：千円）

会計名	歳入歳出補正前	補正額	補正後
一般会計（第2号）	3,671,500	81,792	3,753,292

主な一般会計補正内容

（単位：千円）

歳入		
地方交付税	普通交付税	17,222
国庫支出金	子育て世帯への生活支援特別給付金	4,351
	住民税非課税世帯等への臨時特別給付金	10,880
	新型コロナウイルス感染症対策地方創生臨時交付金	42,770
諸収入	林業振興事業受託収入	2,000
村債	過疎対策事業債	4,200
歳出		
総務費	新型コロナウイルス特別対策事業	42,770
	住民税非課税世帯への臨時特別給付金事業	10,880
民生費	在宅福祉事業	1,298
	子育て世帯生活支援特別給付金事業	4,353
衛生費	予防接種事業	268
農林水産業費	林業振興一般経費	2,000
商工費	武尊牧場キャンプ場事業	8,400
教育費	社会教育施設等管理運営費	1,557
	給食センター管理事業	728

令和3年度 一般会計繰越明許費繰越計算書

（単位：千円）

項目	事業名	金額	翌年度繰越額
総務費	社会保障・税番号制度システム整備費補助事業	853	853
農林水産業費	小規模農村整備事業調査設計及び請負出来高設計業務	4,301	4,301
	小規模農村整備事業農業用用水排水路整備工事	17,060	17,060
	鎌田地区 防災減災事業劣化状況評価業務	2,000	2,000
	県単林道改良事業道路改良等工事	15,900	15,900
商工費	花の駅片品 営業用ボイラー更新工事 設計監理業務委託	1,000	1,000
	花の駅片品 営業用ボイラー更新工事	30,000	19,000
	越本水芭蕉の森 鳥獣被害防止柵設置工事	20,980	13,080
	かたしな満喫ツアー事業	8,000	8,000
土木費	細工屋橋 橋梁耐震・耐荷補修工事設計書作成業務委託	5,000	5,000
	細工屋橋 橋梁耐震・耐荷補修工事	106,000	64,200
	下小川橋 橋梁耐震・耐荷補修詳細設計委託	16,300	16,300

令和3年度 下水道事業等特別会計繰越明許費繰越計算書

(単位：千円)

項目	事業名	金額	翌年度繰越額
建設費	北部浄化センターし尿浄化槽汚泥受入施設増設工事	159,296	159,296
	北部浄化センター脱水汚泥搬出装置設置工事	34,000	31,260
	し尿処理施設増設工事施工管理委託料	6,000	6,000

条例の一部改正

件名	概要
片品村営武尊牧場観光施設利用料徴収条例の一部を改正する条例について	武尊牧場観光施設の利用料を変更するため、条例の一部を改正するもの
花の駅片品の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	花の駅片品の使用料を変更するため、条例の一部を改正するもの

諮問

件名	概要
人権擁護委員候補者の推薦について	人権擁護委員、萩原保正氏の任期が、令和4年9月30日で満了になるため、桑原護氏を候補者として推薦したいというもの



Welcome
ようこそ **有権者**

選挙への向き合い方

群馬県立尾瀬高等学校 五藤 拓実さん
自然環境科 3年



私は、今年の5月で18歳になり、選挙権を持つことになりました。今まで、政治については特に興味がなく、選挙権を得たことについても学校の先生に言われるまで忘れていました。実際、ついこの間までは選挙権を得たという実感が湧いていみせませんでした。しかし、18歳になってからというもの、学校の先生や親、それに同級生にも口を揃えて「選挙には行かないの？」と言われるようになり、嫌でも選挙について考える時間ができるようになりました。まず、一番最初に頭に浮かんだのが、「誰に投票すればいいのかわからない」ということで、そこから一気に投票する気が失せていました。そんな時、笑下村塾の芸人さんが来校

し、「笑える政治教室」をしてくださいました。今年から有権者になった私達に選挙への向き合い方を教えていただき、投票に行こうか迷っていた私は、真剣にかつ楽しみながら受けることができました。特に印象に残っていることは、若者の投票率が下がると若者向けの政策も減り、結局若者が損をする、ということについてです。確かに、今の社会に対して何一つ不満がないといえれば嘘になりません。学校や地域の立て直してほしいところなど、今回の選挙で直接言えなくても、私達が選挙に対して意欲を示せば、若者向けの政策が増えることではないでしょうか。

私は、選挙は難しく、興味が湧かず、投票には行かなくていいかなと思っていました。ですが、私達が将来、不満なく暮らすためにも今回の選挙、投票に行こうと思います。

村政を問う！

一般質問



星野 吉弥 議員

先日、一、二ミリほどの降ひようが村内一部地域でありましたが、農作物被害が最小限であればと願っております。群馬県は1月11日以来、4か月半ぶりに新型コロナウイルス対策の警戒レベルを1に、引き下げました。さらなる小康状態の継続と終息を願っています。また、4回目のワクチン接種につきましても、7月以降、随時実施予定とのことで、村当局、職員の皆様におかれましては、ご尽力大変ありがとうございます。

高齢者福祉・観光誘客 対策について (人工芝グラウンド改良)

問(1) 第4次総合計画による高齢者福祉生きがい対策を、

コロナ過で活動は制限されたと思いますが、どのような健康増進対策の充実を図っていましたか。

答(村長)

高齢者の健康増進対策についてですが、以前から介護保険事業で実施しています。65歳以上の住民で生活機能の低下が見られると判断された方を対象に、閉じこもり予防や生活の張り合い作りの支援を目的として、病院の理学療法士や作業療法士等の外部講師を招き、筋力低下予防や認知症予防、さらに機能の維持・改善のための講話や体操を実施しています。

本事業が参加者の生活の張り合いや、楽しみになっていることで、閉じこもりの予防になり、認知症予防に関しては、確実に効果につながっていると感じています。

また、65歳以上の元気な高齢者を対象に、介護予防の重要性の普及や、生活機能の維持・向上を図り、さらなる健康寿命を延ばすため、月に1回は各地区からの要請により

地区へ出向き、理学療法士や作業療法士による集団体操、保健師による認知症予防講座など、その時々適した話題での健康教育を実施しています。輝きサロンは、1人だと体操はなかなか出来ないが、皆で集まれば楽しくできると、週1回自主的な体操も行っています。

今後は、感染状況を踏まえた上で、活動を控えている集まりの再開支援や、自主活動グループの立ち上げ支援を行っていきたくと考えています。また、各地域での体操教室とは別に、毎月1回、リハビリの専門職を迎え、「はつらつ体操教室」を健康管理センターで実施し、高齢者の健康増進を図っています。

ほかに、毎月1回、「片品ひだまりカフェ」の名称で、認知症カフェを開催しています。ひだまりカフェでは、レクリエーションや作品作りを通して交流し、情報交換や専門職に悩みなどの相談をすることで、良いアドバイスをもらうなど、生きがい作りにも生かせるよう実施しています。今後も感染状況を踏まえ、できる限り健康増進対策の充実を図っていきたくと考えております。

テーマ

高齢者福祉・観光誘客対策

星野吉弥議員

令和2年の高齢者福祉の村民満足度は63・3%となっています。保健福祉課、包括支援センター、社会福祉協議会が三位一体となり、地域住民の協力を得て高齢者福祉向上を進めていけるようお願いいたします。

答(村長)



人工芝のグラウンドは、村内では一部の地域に、民間所有の施設が整備されており、民間所有である人工芝のグラウンドについては、子どもなどのサッカーイベントの開催など、村外からの宿泊を伴う利用者が多くあり、その地域の誘客施設として、大変重要な施設となっていると把握しています。人工芝のグラウンドは、天然芝に比べてメンテナンスの手間が少ないため、ランニングコストも抑えられ、雨天の際の利用は泥汚れが少ないことや、計画どおり利用できること、メンテナンスもほとんど必要がなく、クッション性が高いためケガの防止にもつながるとされています。

デメリットとしては、導入時の施工費が多く掛かることや経年劣化などにより、使用頻度によって異なりますが、人工芝の張り替えが必要になります。

今後、村内数箇所人工芝のグラウンドを整備することが

問(2) グラウンドの人工芝改良を村内3カ所ほど計画的に進め、高齢者や幅広い村民の健康増進、さらに宿泊関係の各種大会イベント誘致を進めるためにも、観光振興策として、今後取り組むべき施策と

思います。いかがでしょうか。

できれば、村民の利便性よりもより、宿泊施設の誘客時のコンテンツとして大きなメリットになると考えます。その利用はサッカーなどのスポーツイベントの他に、展示会やフリーマーケットなどの開催に利用することも考えられます。これからのポストコロナの時代では、生活様式も変化し、利用者のニーズも多種多様になり、他の地域との差別化を図っていくことが重要になると考えます。人工芝のグラウンド整備は、今後の誘客の取り組みとしては、有利になると考えますが、施行する際には、多くの予算が必要になります。今後、人工芝グラウンドを所有している自治体や民間事業者などへの調査や、有識者の意見なども参考にしながら、片品村にとつてのメリット、デメリットを確認し、関係者と連携しながら協議を行い、ベストな選択ができるように、進めてまいりたいと考えております。

星野吉弥議員

今後、早急に旅館民宿連合会や、現在、JTBよりマネジメント事業部に配属されている職員を含め、検討を進めて

もらえればと思います。費用対効果を考えるとき、サッカーに限定することなく高齢者のグラウンドゴルフでの練習拠点や健康増進、さらに大会誘致による宿泊増、道の駅かたしなの売上アップにも繋がるものと確信し、取り組みの検討を強くお願いします。

尾瀬国立公園 「ゼロカーボンパーク」 について

問(1)「尾瀬国立公園」かたしなエリアが全国7番目として「ゼロカーボンパーク」に登録されましたが、詳細と取組推進方針を伺います。

答(村長)

環境省では、国立公園において先行して脱炭素化に取り組むエリアを「ゼロカーボンパーク」として推進しています。国立公園における電気自動車等の活用や、立地する利用施設における再生可能エネルギーの活用、さらに地産地消等の取組を進めることで、脱炭素化を目指すとともに、脱プラスチックも含めてサステナブルな観光地づくりを実現していくエリアです。尾瀬国立公園の片品地域は、尾瀬かたしなエリアとして、本年4月21日に県内初、全国で7番目の「ゼロカーボンパーク」の登録となりました。

登録にあたっては、ゼロカーボンシティ表明を行うことや、適切な森林管理や自然環境の保全に配慮したカーボンニュートラルに向けた具体的な取り組みを行う予定があること、さらに国立公園のみならず、エリア周辺の脱炭素化を進めることなどの条件があります。ゼロカーボンパークの具体的な取り組みといたしましては、持続可能な観光とゼロカーボン観光の推進として、民間事業者や尾瀬認定ガ

テーマ

尾瀬国立公園

「ゼロカーボンパーク」

イド協働による「尾瀬サステナブルツーリズム」や地元NPOと民間事業者の連携によるイーバイクの周遊観光の実施や、有料ゴミ袋を削減するためのマイバッグやアウトドアメーカーとのコラボによるマイボトル活用の推進、また、脱炭素に向けた再生可能エネルギーの導入と省エネ推進として、入山拠点である鳩待地区の山荘リニューアルに伴うオール電化の導入や、山の鼻地区の山小屋における高効率給湯器やLED照明などの導入、イーターン・Uターンの若者や子育て世代を含めた移住定住促進住宅の推進、さらに適切な森林管理やCO2固定吸収量の確保として、尾瀬ヶ原湿原を保護する木道材に地元尾瀬戸倉山林のカラマツ材を活用することによる輸送コスト低減の促進や、尾瀬高校や民間企業が連携したCO2固定に寄与する大清水湿原の回復作業など、すでに実施しているものもありますが、民間事業者や地域関係者と協力して

推進したいと考えております。今後どのような取り組みを実施していけるのかが重要になります。協議会などの設置も検討し、新尾瀬ビジョンの理念である「みんなの尾瀬をみんなで守り、みんなで楽しむ」ことを次の時代に継承できるように、関係機関と連携し進めて参りたいと考えております。

星野吉弥議員

尾瀬国立公園内で山小屋営業を行っている村内事業者は、尾瀬林業を始めとする5事業者だと思えますが、環境省では多くのエネルギー対策補助事業を準備しているようです。国立公園内事業者を含め、有効な協議会設置をお願いします。最後に、一般質問によって当村にとって効果的な施策が提案された場合には、ぜひとも目を開いていただき、今後とも村、村民生活向上にご尽力をお願いいたします。





総務観光 常任委員会

協議事項

所管事務について

問 防災備品の中で衛生用品や粉ミルクなどの備蓄について、数や種類などの備蓄状況がどのようになっているのか教えていただきたい。

答 (総務課長)

備蓄品の保管数量の根拠については、それぞれ対象者5名で、3日程度を見込んでいます。

子ども用のおむつが348枚、大人用のおむつが96枚、生理用品については132枚、拭き等が632枚です。

ミルクにつきましては、200ミリリットル入りが75本、それに合わせまして哺乳瓶が24本です。以上については、健康管理センターで保管されています。

また、おにぎり5,050個、水は500ミリリットルで720本、その他に毛布や携帯トイレ、マスク、段ボールの間仕切り等が、役場で保管されています。

問 尾瀬の入山者はかなりコロナ前に戻ってきているが、旅行会社などに道の駅や花の駅に立ち寄るようなコース設定を働きかけていただきたい。

答 (むらづくり観光課長)

道の駅ではコロナ前は民間業者の方と頻りに旅行業者へ営業活動をしていましたが、コロナの影響後は行えていません。コロナの状況も確認しながら進めていきたいということでもあります。

村でも観光協会などと情報を共有して、どのようにしたら一番効果的かということも検討していきたいと思えます。

問 地域おこし協力隊の定住者は、片品村にはどのくらいいるのか。また地域おこし協力隊の任期後の定住促進策を教えてください。

答 (むらづくり観光課長)

片品村は、平成27年から受入れをしまして、現在活動している4名の方を含めて13名の方の受入れをしています。

片品村に定住した方は、平成27年に就任された方が1名だけ定住して、飲食業を行っています。その他に沼田市に1名、みなかみ町に1名、川場村に1名定住しています。

片品村の地域おこし協力隊の定住促進の事業は、片品村地域おこし協力隊起業支援補助金があり、3年間の受入期間の終了前1年から終了後の

1年、その2年間のうちで起業をした方に100万円を上限として補助ができる事業を行っています。定住された方については、この事業で100万円の補助をさせていただいております。

問 人口急減地域特定地域づくり推進法に基づく特定地域づくり事業協同組合について、片品村でも取り組んでいく必要があるのではないかと。

答 (むらづくり観光課長)

この制度は、安定的な雇用環境及び一定の給与水準を確保できないなどの事由が、人口流出やIターン、Uターン等の障害になっていることを踏まえ、地域の仕事を組み合わせ、年間を通じた仕事を創出し、地域の担い手を確保することを目的としています。

片品村としても、スキー場の従業員不足に苦慮しているという声も聞きますので、その辺りのマッチングができるのではないかと考えています。この制度を知らない方も多く提供しますので、情報を提供するとともに、実施したい

ところがあれば、支援が可能だと思えますので、状況を見ながら検討して参ります。

問 火災発生時の防災無線で、発生場所の放送に時間がかかっているが、改善できるか。消防団員には、メールで場所の連絡は来ていたと思うが。

答 (総務課長)

火災時の消防信号については、利根・沼田管内一括で現在、高崎消防指令センターから直接受信し、村内に自動放送されています。

火災時のサイレン、消防信号については、消防法に基づいて回数と長さが細かく定められ、火災時の出動信号については、5秒鳴り、6秒休止を3回と定められております。法律上で定められている事項になりますので、変更は大変難しいものと思われまます。

(委員長 萩原 和典)





産業民教 常任委員会

協議事項

所管事務について

問 来年度には保育園が統合になり、南保育園に通う園児も片品保育園に来るようになるが、保護者の方から、スクールバスと一緒に乗るのか、または、別に出るのかというような声があるが、どのような予定になっているのか。

答（保健福祉課長）

保育園の園児の送迎に関しましては、去年、南保育園でも三、四回、懇談会を開かせていただいた。その中でスクールバスを活用して、保育園の園児の送迎ができることはお伝えし、打合せは済んでおります。

まだ教育委員会とは詳細を詰めてはいませんが、今現在はスクールバスを利用して、園児の送迎を実施する予定です。来年、南保育園地区については、3歳以上の対象者が3名で、子どもたちについては、今後利用の有無を含めて調整していく予定になっています。なお、3歳未満の子どもはバスに安全に乗れないということがあるので、こちらについては保護者に送迎してもらうということ、懇談会の中では了承をいただいているという認識であります。

問 平成27年の介護保険法改正で医療、介護に、新しく「生活支援、介護予防の生活支援体制整備事業」の取組が加わりました。少子高齢化、

人口減少により、福祉の担い手不足、財源不足となり、公的なサービスだけでは対応できなくなりそうです。特に2025年には団塊の世代が全員75歳以上になります。75歳を過ぎると5人に1人が認知症になると言われていますので、認知症予防のためにこの取組を地域で進めることが大切です。

生活支援体制整備事業は、互助を基本としたサービス創出であり、住民の自発的な活動、ボランティアが基本です。具体的には第2層協議体（話し合いの場）を作り、進めることとなりますが、全てをボランティアでまかなうとなると、金銭的負担も大きい。空いている公共施設を利用する場合、家賃や運営費等の補助金はあるのですか。

答（保健福祉課長）

介護予防・生活支援サービス事業で、住民主体による支援の「通所サービスB」を実施していただければ、家賃や光熱水費など運営に係る経費を補助金として交付することができます。



問 高齢者の雪下ろしや除雪について、なかなか屋根には上がれないし、大ケガ等の心配もあるので、補助金を出してもあるのに依頼する、地区の若い人にもお願いするなど、何かしらの方策をお願いしたい。公民館などは消防団にボランティアでお願いしているケースもあるのですが、そういった体制も考えられると思うが。

答（村長）

検討という言葉が適当かどうか分からないですが、補助金については、ここでは良くて、こっちは駄目だと、そういった話になりますから、基準をしっかりと決めることができるならば、実施したいと思っています。

なお、消防団にお願いすることについては、出動する時

期や団員への報奨、さらには費用もかかってくるかと思えますので、消防団とも相談しなければなりません。非常に有効ではあると思います。

問 まず、片品村の畑作の牽引役である上郷地区の用水の確保が急務であると考えますが、今の時代に整備をしなければ、未来ある子供たちが、村に残り農家を継がないということにもなりかねず、村の経済にも影響が出ると思うので、真剣に取り組むことをお願いしたい。さて、激甚化する災害を未然に防ぐため、利根川水系の治水対策のより一層の強化が必要と、戸倉ダム建設推進の提言書を村に提出して、から、もうすぐ1年経つが、期成同盟会設立に向け、地元、近隣町村、下流都県との調整具合はどうなっているか。

答（村長）

期成同盟会に関しては、まず、利根・沼田、そして、できれば前橋、渋川を入れた形で7月中に立ち上げられるように取り組んでいるところです。また、古くなった戸倉発電所を戸倉ダムに付設して運営していければという思いもあるのですが、期成同盟会に、自治体だけではなく、民間の会社にも入っていただけて進めていきたいと考えております。

（委員長 千明 勉）

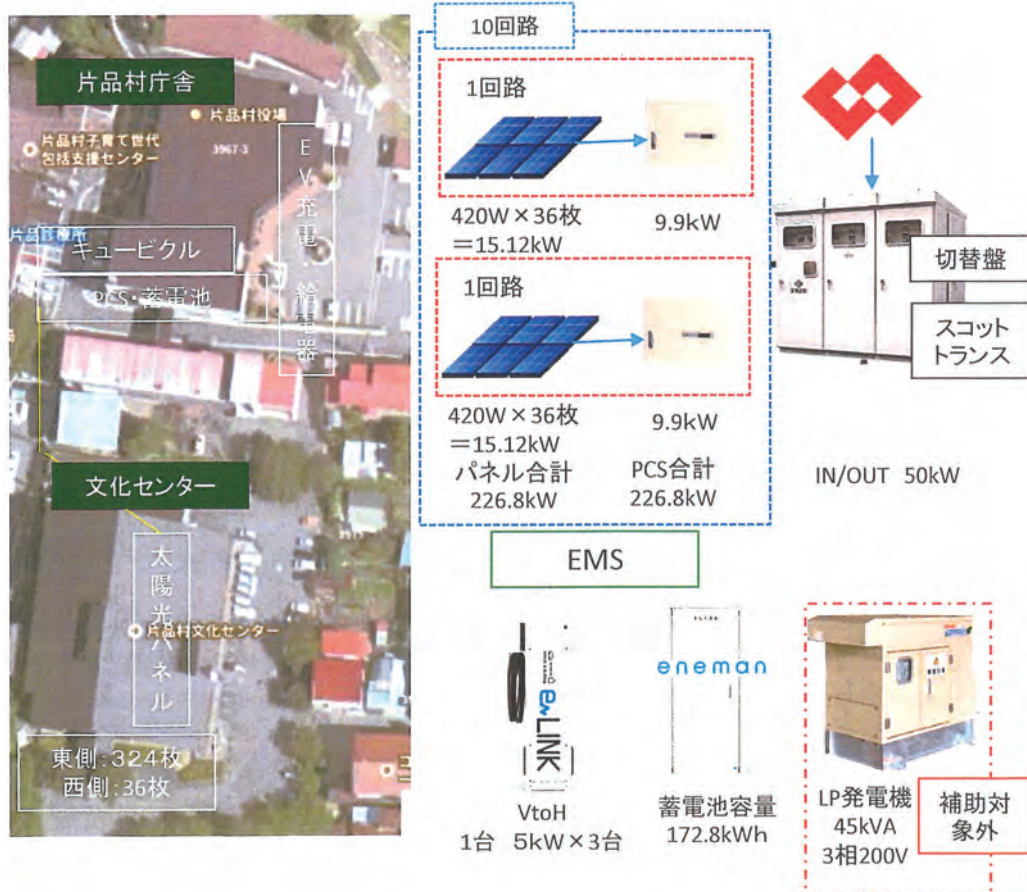
再生可能エネルギー 調査・研究特別委員会

活動報告

令和4年6月10日 委員長 飯塚 美明

●導入予定システム概要

- システムの目的：①停電時にも、必要最低限の電力を3日以上供給できること
②平常時は、太陽光パネルと蓄電池により、CO2削減が可能であること



このシステムは、太陽光パネル360枚を文化センターの屋根に設置し、太陽光発電の電気を庁舎の昼の電気で使用し、余った電気を蓄電池に充電し夜間電力とすることで、晴天時には、庁舎で使う24時間の電気を100%賄います。太陽光発電出力150kw、蓄電池容量172kwh、災害時無停電化を図るために非常用発電機にはLPガス発電機(45KVA)を設置し、対応します。

導入予算見込額 (現地調査・詳細設計前の予算額で、実際の見積額ではありません)

太陽光パネルシステム、蓄電池システム、LPガス発電機等の導入費用は、約8,960万円で、国の補助金(1/2)を利用すると4,860万円の実質負担見込額となります。1つの目安として概算額を提示しました。

太陽光発電設備	東電からの年間購入電力量	年間電気料金	電気代削減額
導入前 (2021年の実績値です)	162,314 kwh	4,765,198 円	削減
導入後 (予測値です)	57,287 kwh (天候により太陽光発電で不足する電力量)	1,980,027 円	

*CO2は2021年度より90.47t/年の削減が予測されます。

再生可能エネルギー調査・研究特別委員会では、片品村がゼロカーボンシティー宣言を行ったことを踏まえ、文化センターの屋根に太陽光パネルを載せ、太陽光発電に

よる電気で役場庁舎の電気を賄うことで、電気料金の削減、CO2の削減を図ることを基本的な考え方として、プランを作成し、提案しました。



6月10日、村長、副村長、所管の課長に出席していただき、(株)オリンピアの専門家2名によるプレゼンを行いました。

第3回臨時議会の主な議案内容及び議決一覧

議案番号	議案内容	議決結果	議員名											
			萩原和典	狩野孝夫	鹿野一郎	千明道太	北澤佳子	星野吉弥	千明勉	後藤眞平	萩原正信	高山悦夫	星野栄二	飯塚美明
報告第1号	専決処分の報告について	報告案件	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第2号	専決処分の報告について	報告案件	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第28号	令和4年度片品村一般会計補正予算(第1号)について	全会一致 原案可決	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○

第4回定例議会の主な議案内容及び議決一覧

議案番号	議案内容	議決結果	議員名											
			萩原和典	狩野孝夫	鹿野一郎	千明道太	北澤佳子	星野吉弥	千明勉	後藤眞平	萩原正信	高山悦夫	星野栄二	飯塚美明
議案第29号	片品村営武尊牧場観光施設利用料徴収条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第30号	花の駅片品の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致 原案可決	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第3号	令和3年度片品村一般会計繰越明許費繰越計算書について	報告案件	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
報告第4号	令和3年度片品村下水道事業等特別会計繰越明許費繰越計算書について	報告案件	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	全会一致 原案可決	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第31号	令和4年度片品村一般会計補正予算(第2号)について	全会一致 原案可決	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○

※欠席議員は「-」で、議長は「△」で表示

要望書提出

戸倉ダム建設に関する要望書を 国会議員へ提出しました

去る5月31日、東京都千代田区永田町の国会議員会館を訪問し、次の要望書を関係する国会議員へ提出しました。

戸倉ダム建設に関する要望書

戸倉ダムは、群馬県利根郡片品村大字戸倉地先を流れる一級河川片品川において計画された多目的ダムで、昭和62年度に建設事業に着手し、平成4年度の事業実施方針指示により独立行政法人水資源機構が事業を進めてきました。水道用水確保のために参画していた埼玉県、千葉県、東京都が相次いで撤退したことにより、治水・利水の共同事業としてのダム建設事業は、平成15年12月に中止となりました。中止に至るまで、環境影響評価、用地取得、工事用道路等の事業が実施されました。

毎年のように全国各地で甚大な水害が発生している状況において、群馬県でも令和元年東日本台風の時に

は、多くの被害が発生しました。幸いにも試験湛水中のハツ場ダムの効果により、ダム下流の吾妻川、利根川の破堤、氾濫を回避することができました。これにより改めてダムによる治水対策の有効性を認識したところです。

今後も気候変動の影響により気象災害の激甚化、頻発化が進むなか、片品川、利根川の洪水被害を軽減するため、治水対策を着実に進める必要があります。その治水対策として、片品川にダムを建設することは非常に有効な手段です。また、ダム建設は大部分の用地取得が完了している中止した戸倉ダム地点を進めることが、時間的、経済的な観点からも大変効果的であります。つきましては、片品川、利根川の治水対策として、片品村大字戸倉地先の片品川に、国による治水目的とした戸倉ダムの建設を強く要望するものです。

令和4年5月31日
片品村議会議長 千明 道太

議会活動目録

4月	8日	再生可能エネルギー調査・研究特別委員会（勉強会）
	12日	尾瀬アヤマ平雪上視察参加
	18日	利根地方総合開発協会理事会
	”	利根郡町村議会議長会4月定例議長会
	”	利根沼田広域圏4月定例議員協議会
5月	25日	金精道路（国道120号線）開通式
	27日	再生可能エネルギー調査・研究特別委員会行政視察
	10日	議員会
	12日	議会運営委員会 第3回議会臨時会
	16日	利根郡町村議会議長会5月定例議長会・総会
6月	”	利根沼田広域圏5月定例議員協議会
	”	利根沼田学校組協議員協議会
	23日	再生可能エネルギー調査・研究特別委員会（勉強会）
	25日	議長杯グランドゴルフ大会
	25日	議会運営委員会
7月	”	議会議長協議会
	26日	群馬県町村議会議長会臨時総会・町村議会議長研修会
	27日	利根地方総合開発協会総会
	”	利根沼田学校組合臨時議会
	30日	全国町村議会議長研修会
31日	戸倉ダム関連陳情（国会議員会館）	
8月	3日	第4回議会定例会開会
	”	議会議長協議会（補正予算説明）
	7日	武尊山山開き
	8日	産業民教常任委員会
	”	カーボンニュートラル講演会参加
9月	”	総務観光常任委員会
	10日	第4回議会定例会閉会
	”	議会広報編集特別委員会
	”	再生可能エネルギー調査・研究特別委員会
	11日	利根郡町村議会議長会7月定例議長会
”	利根沼田広域圏7月定例議員協議会	
15日	再生可能エネルギー調査・研究特別委員会行政視察	

発行 片品村議会

責任者 千明 道太

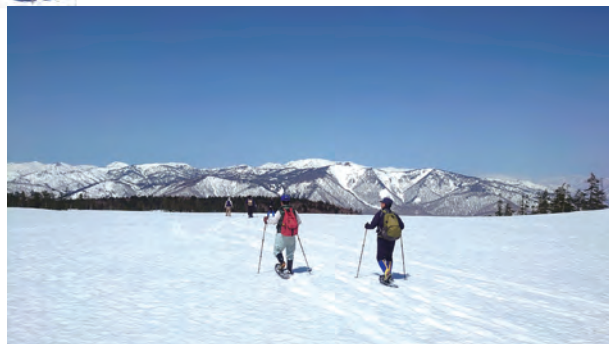
編集

議会広報編集特別委員会

印刷所 笠原印刷(有)



かたしなフォトギャラリー



尾瀬アヤマ平雪上視察



武尊山山開き

○傍聴のお知らせ

9月議会を傍聴しませんか！

次回定例会は、**9月1日(木)**の予定です。

一般質問は、開会初日です。なお、一般質問の質疑応答は片品村公式ホームページ（HP）の議会録画中継にて動画を閲覧できます。

片品村ホームページURL

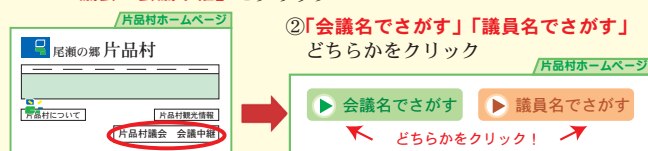
<http://www.vill.katashina.gunma.jp/>

○議会録画中継について

年4回の定例議会開会日の模様を動画（録画）配信していますので、是非ご覧ください。

①片品村ホームページトップ画面右側「片品村議会 会議中継」をクリック

視聴方法



②「会議名でさがす」「議員名でさがす」どちらかをクリック

☆携帯電話でもご覧いただけます。

議会広報編集特別委員会

委員長	北澤 佳子
副委員長	狩野 孝夫
委員	飯塚 美明
委員	星野 栄二
委員	高山 悦夫
委員	萩原 正信

編集委員長 北澤 佳子

片品村の山々もひとときわ色を深め、本格的な夏の到来を感じます。この度の第3回臨時議会で、議会広報編集特別委員長に選任されました。村民の皆様は議会活動をより身近に分かりやすく伝えていきたいと思っております。これからも御指導の程宜しく願います。

今年には全国的な異常気象で空梅雨となり、関東も早い梅雨明け発表がありました。猛暑による熱中症や夏場の水不足・作物の被害などが懸念されます。また物価の高騰は引き続き私たちの生活に大きな影響を与えています。

尾瀬の水色蕉の時期には観光バスが行き交い、週末の道の駅かたしなには他県ナンバーの車も多く見られる。個人の方、家族連れやグループのお客様で賑わいがありました。旅行喚起対策の「県民割」などの効果もあり、人の動きも少しずつではありますが戻ってきた印象を受けます。村内の学校行事も徐々に開催されるようになってきました。

村民の皆様ひとりひとりが日々健やかに過ごすことを願い、編集後記といたします。

編集後記